

科目名	海外プランニング実務						
科目名(英)	Overseas Planning						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高橋 榮二		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にて、旅行企画及び法人営業に従事		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	海外企画・手配旅行の商品からプランニングの基礎を学び、アジア・アメリカ・ヨーロッパの観光資源を理解する。JATAのコンテストへ向けて、独創的な魅力ある商品づくりにチャレンジする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					世界各国、方面ことの特長を説明できる	
		○				具体的な方面を決めて、旅行プランを作成できる	
		○		○		作成したプランについて、セールスポイントを説明できる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	海外プランニングの概要、企画・手配旅行の現状			授業で使用した資料の復習(0.5時間)		
	2	アジアの観光資源・主要各国の特性			授業で使用した資料の復習(0.5時間)		
	3	アジアの旅程作成①、コースとセールスポイント			アジアの概要を予習(0.5時間)		
	4	旅程①のフィードバック、旅程②作成			フィードバック内容の確認(0.5時間)		
	5	アメリカ・カナダの観光資源・各国の特性			授業で使用した資料の復習(0.5時間)		
	6	アメリカ・カナダの旅程作成①、コースとセールスポイント			アメリカ・カナダの概要を予習(0.5時間)		
	7	旅程①のフィードバック、旅程②作成			フィードバック内容の確認(0.5時間)		
	8	ヨーロッパの観光資源・主要各国の特性			授業で使用した資料の復習(0.5時間)		
	9	ヨーロッパの旅程作成①、コースとセールスポイント			ヨーロッパの概要を予習(0.5時間)		
	10	旅程①のフィードバック、旅程②作成			フィードバック内容の確認(0.5時間)		
	11	JATAコンテスト企画書作成			企画内容の検討(1時間)		
	12	JATAコンテスト企画書作成			企画内容の検討(1時間)		
	13	JATAコンテスト企画書作成			企画内容の検討(1時間)		
	14	JATAコンテスト企画書作成			企画書の仕上げ(1時間)		
15	まとめ			全体の振り返り(0.5時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)企画書を作成する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				70%
	企画書作成		◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない						

科目名	観光業界時事						
科目名(英)	Tourism industry current topics						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三笥 秀一郎		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にて営業職、添乗員、商品企画として勤務		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	旅行業をはじめ観光業界の現状と今後の展望について学び、就職活動に活かしていく。 主要な企業の特徴を理解し、自身の企業選択のヒントにする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					旅行業を含む観光業界全般への知識を深め、それぞれの業務を理解することができる	
		○				旅行業界の現状と今後の展望について説明できる	
		○		○		就職を希望する企業の特徴を理解し、説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	「WEEKLY TRAVEL JOURNAL 週刊トラベルジャーナル」株式会社トラベルジャーナル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業の概要と目的の説明、学生各自の就職目標の把握			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	2	業界のトピックス、求人の来ている旅行会社の概要			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	3	業界注目のニュース、訪日客対応支援について			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	4	業界注目のニュース、訪日クルーズ商品の現状			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	5	業界注目のニュース、JTBの新たな戦略			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	6	業界注目のニュース、国際MICEの波及効果			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	7	業界注目のニュース、海外旅行企画コンテスト			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	8	業界注目のニュース、取扱額からみる旅行会社の特長			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	9	業界注目のニュース、渡航先別日本人訪問客数			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	10	業界注目のニュース、添乗員の現状			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	11	業界注目のニュース、旅行業界の苦情の現状			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	12	業界注目のニュース、弁済業務保証金制度改正について			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	13	業界注目のニュース、業界のリーダーの言葉			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	14	業界注目のニュース、IR法案について			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)		
	15	授業内容振り返り					
評価方法	(1)課題レポートを提出する (2)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。						
	成績評価基						
	準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題レポート		◎		○		80%
出席状況				◎		20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外観光地理ⅡA						
科目名(英)	Overseas tourism geography ⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	旅行業界および旅行関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、日本からの渡航者が多いヨーロッパ主要国の観光地理についての知識を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ヨーロッパ主要国およびそれらの首都の名称と位置が把握できている。	
	○					ヨーロッパ主要国の使用言語や使用通貨など国の概要を説明することができる。	
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					ヨーロッパ主要国の観光資源を1か国につき15以上挙げることができる。	
			○			各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行実務シリーズ「海外観光資源」 JTB総合研究所 「旅に出たくなる地図 世界」 帝国書院						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	観光資源とは、世界遺産について				授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索してイメージをつかむこと。(0.5時間)	
	2	イタリアの観光資源① — 国の概要、イタリア中部～南部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	3	イタリアの観光資源② — イタリア北部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	4	スペインの観光資源① — 国の概要、スペイン中部～南部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	5	スペインの観光資源② — スペイン南部・北部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	6	イギリスの観光資源① — 国の概要、イギリス南部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	7	イギリスの観光資源② — イギリス中部～北部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	8	フランスの観光資源① — 国の概要、フランス中部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	9	フランスの観光資源② — フランス北部・南部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	10	ドイツの観光資源① — 国の概要、ドイツ北部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	11	ドイツの観光資源② — ドイツ南部				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	12	スイスの観光資源 — 国の概要、スイス全域				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	13	北欧の観光資源 — 北欧諸国の概要				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)	
	14	映像作品の中の観光資源				ヨーロッパがロケ地となった映画やTV番組などを鑑賞してみる。(1時間)	
15	ヨーロッパ主要各国の基礎知識と観光資源のまとめ				前期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておくこと(2時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 授業内で配布する国別記入式プリントを定期的に回収し評価する。 (3) 課題提出を1回課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	授業プリント	◎	○		◎		20%
	課題	◎	◎				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外商品分析						
科目名(英)	Overseas Planning Articles Analysis						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	齊藤 道幸		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社で営業、企画、管理業務を経験		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	旅行会社の販売上の基本的なツールである海外企画商品パンフレットの内容を理解し、正確に顧客に伝えることを学ぶ。企画商品の販売上の注意点並びに海外諸国の注意点も理解できるように学ぶ。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				海外企画商品の約款上の注意点を理解し 顧客に案内できる。	
	○	○				海外企画商品パンフレット注目点、特徴、セールスポイントを案内できる。	
	○	○				海外企画商品のケーススタディ演習、旅行の税金関係、旅行代金の算出ができる	
テキスト・教材 参考図書	海外企画商品パンフレット(旅行会社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業の進め方、シラバス説明、海外企画商品とは何に					
	2	ハワイ企画商品パンフレットを読む、特徴、セールスポイント				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	3	ハワイ企画商品ケーススタディ演習①				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	4	ハワイ企画商品ケーススタディ演習②				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	5	ハワイ企画商品ケーススタディ演習③				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	6	韓国企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	7	韓国企画商品ケーススタディ演習①				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	8	韓国企画商品ケーススタディ演習②				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	9	確認テスト①				今までの授業の復習、主に旅行代金算出演習をしておくこと(1時間)	
	10	東南アジア企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	11	東南企画商品ケーススタディ演習(タイ)①				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	12	東南企画商品ケーススタディ演習(シンガポール)②				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	13	東南企画商品ケーススタディ演習(ベトナム)③				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	14	東南企画商品ケーススタディ演習(香港)④				事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)	
	15	確認テスト②				今までの授業の復習、主に旅行代金算出演習をしておくこと(1時間)	
評価方法	(1)授業の中で小テスト(確認テスト)を2回実施。 (2)授業の中でケーススタディ演習を実施し、発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(確認テスト)	◎	○				60%
	演習、課題の発表	○	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	カウンター接客演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	店頭販売では、旅行パンフレットの内容を把握し、交通手段やホテル、料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時でのトーク(案内事項、予約事項)力やマナーを身に付けることが求められる。この授業では、実際のパンフレットを使用し、1年次に学んだ観光資源や業界用語の復習をしながら、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ。また、授業の集大成として、カウンタースキルコンテストを実施し、接客販売技術を競い、学び合う場とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				JR時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。	
	○	○				旅行パンフレットを使用して、旅行代金の説明や案内ができる。	
	○	○				ビジネスパックや東京ディズニーリゾートのパンフレットの説明ができる。	
				○		接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。	
			○			ロールプレイングを通して、店頭販売時に行われる基本的な接客トークができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行パンフレットを使用 JR時刻表、航空時刻表						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	カウンタースキルコンテストについて カウンター(店頭販売)の仕事とは				旅行パンフレットを持ってくる指示を出すため、主力商品等のリサーチをしていくこと(0.5時間)	
	2	旅行パンフレットについて(パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方)				時刻表の使い方を復習しておくこと(0.5時間)	
	3	ビジネスパック商品について(JR利用と航空利用の違いと商品概要)				指定ホテルのセールスポイントについて調べていくこと(0.5時間)	
	4	ビジネスパック商品の販売(挨拶→商品の説明→手配までの流れ)				ビジネスパック商品の内容について復習しておくこと(0.5時間)	
	5	ビジネスパック商品の販売 (ロールプレイングとキャンセル料等の案内について)				ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)	
	6	東京ディズニーリゾート商品について(商品概要)				発表の準備をしておくこと(1時間)	
	7	東京ディズニーリゾート商品の販売(ホテル選択と料金について)				発表の準備をしておくこと(1時間)	
	8	東京ディズニーリゾート商品の販売 (挨拶→商品の説明→手配までの流れ)				東京ディズニーリゾート商品の内容について復習しておくこと(0.5時間)	
	9	東京ディズニーリゾート商品の販売(料金案内までの販売練習)				ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)	
	10	東京ディズニーリゾート商品の販売 (トーク力とマナーを意識した販売練習)				ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)	
	11	海外旅行の商品について				海外商品についての復習をしておくこと(0.5時間)	
	12	海外旅行商品の販売(ロールプレイング 販売練習)				ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)	
	13	カウンタースキルコンテスト準備(商品分析とロールプレイング)				コンテスト予選に向けての準備をしておくこと(1時間)	
	14	カウンタースキルコンテスト予選 発表と意見交換				コンテスト予選に向けての準備をしておくこと(1時間)	
15	カウンタースキルコンテスト予選 発表の続き、ファイナリスト決定				コンテスト予選に向けての準備をしておくこと(1時間)		
評価方法	(1)前期末に実施するコンテストの予選会を実施する (2)商品分析の宿題 (3)授業の中でのロールプレイング 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	コンテスト予選	○	◎	○			60%
	宿題	○	○	○	○		20%
	ロールプレイング		○	○	○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	AMADEUS					
科目名(英)	AMADEUS					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	若松 昌枝	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務	
対象学科・学年	トラベル科2年					
授業概要	アマデウスシステムは、旅行・航空業界で使用される端末の1つである。この授業では、前年度に学習した航空会社コード(2レター)や都市コード・空港コード(3レター)を使用し、端末の操作を学ぶ。空席照会、タイムテーブル、予約記録の作成やキャンセルなどの操作方法を学び、アマデウスシステムにおける航空券予約に関する基本的な内容の習得を目指す。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○	○			アマデウスシステムを使用し、旅程の空席照会をし、画面の説明ができる
		○	○			アマデウスシステムを使用し、スケジュールやタイムテーブルを確認することができる
		○	○			アマデウスシステムを使用し、PNRの作成やキャンセルをすることができる
		○	○			模擬問題を60分以内に解くことができる
	○	○			アマデウス検定初級(Specialist)に合格することができる	
テキスト・教材 参考図書	「ユーザーガイド 予約」株式会社アマデウス・ジャパン					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	アマデウス概要説明 起動とサインイン、サインアウト			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	2	コード検索 (空港コード、航空会社コード、国コード)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	3	情報検索 (日付、時刻検索、最低乗継時間)			確認テストの準備をしておくこと(0.5時間)	
	4	コード検索、情報検索の確認テスト 空席照会			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	5	空席照会オプション ダイレクトアクセス			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	6	フライトスケジュール			確認テストの準備をしておくこと(0.5時間)	
	7	タイムテーブル、アクセスレベル			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	8	PNR作成 (空席照会、フライト予約、ヘボン式ローマ字)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	9	PNR作成 (乗継フライト予約、ネーム入力)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	10	PNR作成 (小児・幼児入力) PNRの中断、再表示			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	11	PNRの中断、再表示			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	12	PNR作成 (項目のキャンセル、ARNK)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	13	SSR (ミール、フリークエントフライヤー)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	14	SSR (シートマップ)、OSI			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	15	SSR、OSIの追加、PNR項目のキャンセル、ヒストリー確認			テストの復習をしておくこと(0.5時間)	
	16	PNR作成テスト実施 解答、解説			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	17	PNRの修正、変更			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	18	PNRの分割			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	19	PNRのコピー			確認テストの準備をしておくこと(0.5時間)	
	20	時間を計測してのPNR作成テスト 解答・解説			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	21	模擬試験1回目			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1時間)	
	22	模擬試験2回目			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1時間)	
23	定期試験(実技)			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1時間)		
	(1)小テストを4回実施する (2)定期試験(実技)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト・模擬試験	○	◎	◎	○		20%
	定期試験(実技)		◎	◎			80%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	業界ビジネス英語A						
科目名(英)	Travel Business English A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	栗本 聡		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	観光英語A・Bで学んだ表現を見直し、海外旅行での英会話を学び、慣れる。 繰り返し学習することで表現の定着を図り、簡単な英会話、簡単な英文が読めるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					海外旅行で役立つ英語表現ができる	
		○				海外旅行で使用する簡単な英会話ができる	
		○				海外で目にする簡単な英文を読むことができる	
テキスト・教材 参考図書	「ゼロから話せる接客のひとこと英会話」 KADOKAWA出版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	カイトダンス・Game : National Aeronautics and Space Administration					
	2	immigration				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	3	hotel 1				本日学んだ表現を復習すること(0.5時間)	
	4	hotel 2				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	5	hotel 復習				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	6	Toy Story of Terror 観賞・review				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	7	restaurant 1				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	8	restaurant 2				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	9	restaurant 復習				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	10	Terminal 観賞					
	11	Terminal review				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	12	shop 1				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	13	shop 2				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	14	shop 復習				本日学んだ表現を必ず復習(0.5時間)	
	15	総復習				定期試験に備える(2時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記) (2)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。適切な態度での出席ならば1回の授業で2ポイント、不適切な態度は減点される。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○					85%
	出席状況				○		15%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない						

科目名	ニューツーリズム概論						
科目名(英)	New Tourism Introduction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高橋 榮二		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にて、旅行企画及び法人営業に従事		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	観光庁が推進するニューツーリズムについての理解を深め、旅行業の次のビジネスモデルへ繋げる事例を学ぶ。各地域の観光協会等の取組み事例を学び、そのノウハウを吸収する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各種ニューツーリズムの特長を学び概要を説明できる。	
		○				各地域の実態に即したプランの作成ができる。	
		○		○		作成したプランのポイントを含め、プレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	観光庁ホームページ (http://www.mlit.go.jp/kankocho/) 各都道府県 観光協会ホームページ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ニューツーリズムが推奨される理由				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	2	エコツーリズムについて				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	3	グリーンツーリズムについて				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	4	ヘルスツーリズムについて				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	5	ロングステイ				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	6	文化観光、産業観光について				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	7	ニューツーリズムのまとめ				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	8	エコツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	9	グリーンツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	10	ヘルスツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	11	ロングステイ(プラン作成及びプレゼンテーション)				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	12	文化観光、産業観光(プラン作成及びプレゼンテーション)				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	13	スポーツツーリズムについて				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
	14	スポーツツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)				授業で使用了資料の復習(0.5時間)	
15	その他のツーリズム				授業で使用了資料の復習(0.5時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) プラン作成とプレゼンテーションを実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				70%
	発表・作品		◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合旅行業務取扱管理者対策補講Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	この授業では、総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す学生を対象に、国家試験科目の一部である「国際航空運賃計算」と「国際航空運送約款」について講義および演習を行う。旅行業界ならびに旅行関連業界で必要な国際航空に関する知識と運賃計算技能を習得し、国家試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。						
授業形式	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				国際航空運賃計算に必要な語句や運賃計算のしくみを説明することができる。	
	○	○				国際航空運賃計算の手順を理解し、正しく計算することができる。	
	○	○				総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」科目における「国際航空運賃計算」分野で6割以上得点することができる。	
	○	○				国際航空運送約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。	
	○	○				総合旅行業務取扱管理者試験の「旅行業約款、運送および宿泊約款」科目において6割以上得点することができる。	
テキスト・教材 参考図書	「U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン 2020年版」 ユーキャン自由国民社 総合旅行業務取扱管理者 国家試験過去問題						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	総合旅行業務取扱管理者試験の概要と科目・分野 国際航空運賃の基礎知識			国家試験の概要と科目・分野を再確認すること。 学習範囲を復習し、用語を覚えること。(1時間)		
	2	eチケットお客様控えの見方			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	3	IATAエリア(TC)とグローバルインディケーター(GI)			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	4	タリフの見方、旅行形態			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	5	国際航空運賃①(計算手順、往復旅行)			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	6	国際航空運賃②(周回旅行)			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	7	国際航空運賃③(オープンジョー旅行 — OJ計算)			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	8	国際航空運賃④(オープンジョー旅行 — みなし計算)			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	9	国際航空運賃⑤(特別運賃)			学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)		
	10	国際航空運賃計算問題演習①			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)		
	11	国際航空運賃計算問題演習②			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)		
	12	国際航空運賃計算問題演習③			学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)		
	13	国際航空運送約款			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1.5時間)		
	14	国際航空運送約款、旅行業約款渡航手続代行契約の部			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1.5時間)		
	15	国際航空運賃計算まとめテスト			国家試験に向けて、学習範囲の復習をし、演習問題を解き直しておくこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業内で配布する課題プリントを回収し、理解度の確認と評価を行う。 (2)授業内で、理解度と計算技能をはかるための小テストを複数回実施する。 以上を、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題プリント	◎	◎		◎		30%
	小テスト	◎	◎				70%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	一般教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	旅行業界における就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の養成を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定2級程度の漢字の読書ができる	
	○					計算問題を中心に正確に解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することができる	
	○					数学の文章問題・四則演算を限られた時間の中で解答することができる	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要・シラバス説明、第5回実力テスト					
	2	第1回: 世界史、英語、SPI(玉手箱、分割払い)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	3	第1回: 数学、第2回: 社会、SPI(玉手箱、分割払い)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	4	第2回: 英語、数学、SPI: 割引料金と精算、仕事算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	5	第3回: 社会、SPI: 割合、損益算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	6	第3回: 数学、英語、SPI: 損益算、速度算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	7	第4回: 数学、社会、英語、SPI: 速度算、集合				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	8	第5回: 数学、英語、社会				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	9	第6回: 社会、英語、SPI: 集合、推論				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	10	第7回: 社会、英語、数学、SPI: 推論				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	11	第8回: 社会、英語、数学、SPI: 推論、四則演算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	12	第9回: 英語、数学、社会、SPI: 四則演算、割合				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	13	第10回: 数学、社会、英語				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	14	第10回: 英語、SPI: 売買分割、推理、順列・組み合わせ				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	15	まとめ: 前期試験範囲振り返りと対策				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
評価方法	(1) 定期試験(筆記) (2) 小テスト (3) 出席状況を意欲点として評価 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎			○		80%
	小テスト	◎			○		10%
	出席状況	◎			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ビジネス文書						
科目名(英)	Business Documents						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	濱崎 志珠		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	ビジネスシーンの中において必要な社内文書、社外文書、社交文書の知識を身に付け、ビジネス文書検定取得を目指す。また、社会人としてSNS内の正しい表現や使い方についても知識を深める。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					表記技能(総合、用字、用語、書式)について理解できる。	
	○					表現技能(正確な文章、分かりやすい文章、礼儀正しい文章)について理解できる。	
		○				実務技能(社内文書、社外文書、文書の取り扱いについて理解できる。	
				○		文書による効果的コミュニケーションが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	「ビジネス文書検定受験ガイド 3級」 早稲田教育出版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業及び検定概要 自己診断テスト I 表記技能 1総合				本日の内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	2	I 表記技能 2用字 3用語				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	3	I 表記技能 4書式 II 表現技能 1正確な文章				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	II 表現技能 2分かりやすい文章				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	II 表現技能 3礼儀正しい文章				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	6	III 実務技能 1社内文書				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	7	III 実務技能 2社外文書 3文書の取り扱い				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	8	過去問題テスト解説 表記技能				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	9	過去問題テスト解説 表記技能				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	10	過去問題テスト解説 表現技能				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	11	過去問題テスト解説 表現技能				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	12	過去問題テスト解説 実務技能				練習問題の宿題に取り組む(0.5時間)	
	13	実践ビジネス文書①(就活中の文書)				文書のケースについて考えておくこと(0.5時間)	
	14	実践ビジネス文書②(業務中の文書)				文書のケースについて考えておくこと(0.5時間)	
15	実践ビジネス文書③(社交文書, SNSの文書)				文書のケースについて考えておくこと(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する (2)宿題数回実施する (3)演習問題(過去問題)を実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		30%
	演習問題	◎	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位は付与しない。						

科目名	手話入門						
科目名(英)	Sign language						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平嶋 光希		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	手話入門編として、視覚的にものをとらえる工夫や、様々な手段を使って、聴覚障がい者に伝えあうことを学ぶ。 手話の基本(指文字・挨拶・数字等)を身に付ける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識を身につけることができる。	
	○					聴覚障がい者の生活を理解することができる。	
		○	○			手話の基本を身に着けることができる。	
テキスト・教材 参考図書	「手話を学ぼう手話で話そう」全日本ろうあ連盟出版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	伝え合う。名前の紹介 基礎の学習					
	2	伝え合う。名前の紹介 基礎演習				授業内容の復習(0.5時間)	
	3	伝え合う。名前の紹介 応用演習				授業内容の復習(0.5時間)	
	4	家族の紹介				授業内容の復習(0.5時間)	
	5	数を使って話す、伝え合う				授業内容の復習(0.5時間)	
	6	趣味について話す、伝え合う				授業内容の復習(0.5時間)	
	7	仕事について話す、伝え合う				授業内容の復習(0.5時間)	
	8	住所の紹介				授業内容の復習(0.5時間)	
	9	1～8講座のまとめ 自己紹介				授業内容の復習(0.5時間)	
	10	1日のことについて話す、伝え合う				授業内容の復習(0.5時間)	
	11	1カ月のことについて話す、伝え合う				授業内容の復習(0.5時間)	
	12	1年のことについて話す、伝え合う				授業内容の復習(0.5時間)	
	13	パーティ、旅行について話す、伝え合う				自己紹介実技試験の準備(1時間)	
	14	自己紹介(実技)				確認試験前の復習と事前対策(2時間)	
15	確認テスト(読取)						
評価方法	(1)授業の中で小テストを10回実施する。(筆記7回・実技3回) (2)レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)7回	◎	○				30%
	小テスト(実技)3回		◎				60%
	レポート				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	ビジネス実務Ⅱ						
科目名(英)	Business Ability Test Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本 美和子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行・航空業界にて接客業を経験		
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	7月に実施されるビジネス能力検定3級の取得を目標に、テキストを基本に講義と過去問題演習を通じ、社会人としてのスキルを身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ビジネス用語の意味を理解、覚えることができる。	
		○				ビジネスマナーを身に付けることができる。	
		○				過去問題演習を通じ、解き方のコツを覚えることができる。	
				○		社会人として積極的に人間関係を築き、コミュニケーション能力を高めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	「実践ビジネスマナー」ウィネット 「ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト」日本能率協会マネジメント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業がイタンス・ビジネス能力検定概要・ビジネス用語・ケース問題				ビジネス用語を覚える(0.5時間)	
	2	ビジネス用語・新聞の読み方・情報収集				ビジネス用語を覚える(0.5時間)	
	3	ビジネス用語・統計データの読み方				ビジネス用語を覚える(0.5時間)	
	4	ビジネス用語・ビジネス文書・8つの意識				ビジネス用語を覚える(0.5時間)	
	5	ビジネス用語・コミュニケーションとビジネスマナーの基本				ビジネス用語を覚える(0.5時間)	
	6	ビジネス用語・コミュニケーションとビジネスマナーの基本				ビジネス用語を覚える(0.5時間)	
	7	過去問題 解答 ①・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)	
	8	過去問題 解答 ②・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)	
	9	過去問題 解答 ③・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)	
	10	過去問題 解答 ④・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)	
	11	過去問題 解答 ⑤・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)	
	12	本試験 答え合わせ					
	13	冠婚葬祭(ロールプレ)					
	14	社会人として大切なこと					
15	講義の総まとめ						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)ビジネス用語小テスト(5回)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	小テスト(5回)	◎	◎				30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養ⅡA						
科目名(英)	Social StudyⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	就職活動の基本を理解し、就職活動準備や就職試験対策(履歴書作成・エントリーシート作成、面接対策など)を行い、希望業界・企業、希望職種への内定を目指す						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		就職活動のための準備(企業研究、履歴書・エントリーシート作成)をすることができる	
				○		就職試験対策(筆記試験、面接練習)の管理ができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	「就職活動ガイドブック」学校法人 麻生塾						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職情報伝達目標設定				自分の就職の方向性を考えておくこと(0.5時間)	
	2	企業研究の仕方の説明				企業名を調べておくこと(0.5時間)	
	3	就職活動指導－就職斡旋規定の確認と理解				就職ノートを準備しておくこと(0.5時間)	
	4	就職活動指導－求人票の見方				ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	5	就職活動指導－履歴書、エントリーシートの書き方指導				ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	6	就職活動指導－面接の種類について				ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	7	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	8	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	9	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	10	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	11	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	12	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	13	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
	14	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策				就職受験準備をしておくこと(2時間)	
15	前期の振り返り				ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)		
評価方法	1)出席状況を意欲点として評価 (2)提出物(志望動機、自己PRなど)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	提出物				○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	韓国語基礎						
科目名(英)	Korean language						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧 愛蓮		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に、就職活動に役立つような実力を身に付けると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるように指導する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ハングル文字のつくりを理解し、書くことができる	
	○					地名、名称、会話関連の単語の意味を説明することができる	
		○				自己紹介や文章作成をすることができる	
テキスト・教材 参考図書	木内明著「基礎から学ぶ 韓国語講座 初級」国書刊行会						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	韓国語について、文字の仕組み、基本挨拶、返事、基本母音					
	2	復習 基本子音、子音と母音を組合せ文字づくり				授業内容の復習(0.5時間)	
	3	復習 基本子、音、子音と母音を組合せ文字づくり、複合母音				授業内容の復習(0.5時間)	
	4	文字づくり学習の為のテスト。十分に理解でき、慣れるまでテスト				授業内容の復習(0.5時間)	
	5	基礎続き 文字仕組み パッチム				授業内容の復習(0.5時間)	
	6	基礎続き 文字仕組み パッチム 単語まとめ				授業内容の復習(0.5時間)	
	7	基礎 発音変化 その1				授業内容の復習(0.5時間)	
	8	基礎 発音変化 その2 単語まとめ小テスト				授業内容の復習(0.5時間)	
	9	1課 ~です、挨拶、簡単な自己紹介(基礎単語確認)				授業内容の復習(0.5時間)	
	10	復習 1課 続き、練習問題 ポキャブラリーバンク				授業内容の復習(0.5時間)	
	11	2課 ですかを含む自己紹介の続き、練習問題				授業内容の復習(0.5時間)	
	12	復習 2課 続き、練習問題、ポキャブラリーバンク(家族の呼称)				授業内容の復習(0.5時間)	
	13	3課 否定文 ~ではありません、か。(1, 2課まとめ小テスト)				授業内容の復習(0.5時間)	
	14	3課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク				前期総復習とテスト対策学習(2時間)	
15	前期学習分総まとめ 期末テスト対策						
評価方法	(1)授業中に小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト		◎		○		50%
	定期試験(筆記)		◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	GCB II					
科目名(英)	Global Citizen Basic II					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	若松 昌枝	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	トラベル科・2年					
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する
テキスト・教材 参考図書	「グローバルシティズンベーシックII 志の教育(学生用テキスト)」					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	2	自分を取り巻く環境を知る ~世界の中の日本・日本の中の私~			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	4	伝える力を学ぶI ~プレゼンテーション~			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	5	伝える力を学ぶII ~グループコミュニケーション~			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	6	先人の志に学ぶ~プロフェッショナルとは~			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	7	成功者の考え方に学ぶ~まとめにむけて~			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)			振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート作成・発表				◎	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。					